海老名市議会議員
吉田みな子 レポート
涼風（すずかぜ）の会
議会報告
〒243-0433　海老名市河原口 1-7-12-201
TEL:090-1820-3000 FAX：046-289-2014
E-mail：mina@y.zaq.jp　HP:https://www.yoshidaminako.jp/



▼1 面：議員報酬引き上げと定数削減▼ 2・3 面 : 市営住宅 / 高座議会 /LGBTQ＋支援▼4 面 : 戦争反対の意思表示を

NO WAR！戦争をさせないために今できることを

アメリカ、イスラエルのイラン攻撃に抗議の意思表示を市議会から！

2月28日にアメリカとイスラエルによるイランへの攻撃が行われた後すぐに、海老名市議会で抗議の決議をあげようと涼風（すずかぜ）の会が働きかけました。最大会派の政進会が提出者となり、3月議会最終日に決議が採択されました。

無会派議員の一人が反対したため、全会一致になりませんでしたが、国がアメリカとイスラエルに対して抗議できない状況の中で、地方自治体から抗議の意思を示し、平和的外交努力を国に求めることができたことは、大きな意義があります。

一方で、今回の決議は、過去のロシアによるウクライナ侵攻時の強い非難決議と比べると、当たり障りのない内容となっています。さらには、提出者である政進会が決議文を一言も読み上げない異例の対応をとり、市議会内で反戦・非戦の思いを共有しにくい空気を感じました。

それでも、市議会として意思表示ができたことは、戦争をさせないための大きな一歩です。戦争をさせない行動を議会の中でも外でも、できることを取り組んでいきます。



3月28日は、国会前で「オタクによる反戦デモ」がありました。SNSでの呼びかけで、約2000人が集まり「推しのいる世界を戦場にするな」と声を上げました。平和でなければ好きなことができない―自分の好きなことを守るために戦争を防ぐ行動をしようというスピーチに共感しました。これまでデモに参加したことがない人も多く、多様な意思表示の場が広がっていることに希望を感じます。

＊写真はデモ参加者自作のプラカート。パロディも平和だからできることだと実感します。

国会前で、地域で、戦争反対の声を上げています





4月8日は、国会前で憲法を守る緊急アクションがあり3万人を超える人が集まりました。全国で160か所を超える地域で同時開催され、私は相模大野駅で行われたNO WARアクションに参加しました。高校生など飛び込み参加も多く、50名ほど集まり、「戦争反対」の声を一緒に上げました。

武器よりお米を！ ―令和の百姓一揆に参加しました

3月29日、昨年に引き続き「令和の百姓一揆」に参加しました。東京の青山公園に全国から農家のみなさんが集まり、トラクターデモも行われ、参加者は約1200人にのぼりました。全国17か所で同時開催され、所得補償や食料自給率の向上など、農業政策の転換が求められました。



4月10日に農林水産省が公表したスーパーでの米の平均価格は、5キロあたり3,933円で、4,000円台から下がったとは言え、2023年の平均約2,000円から大きく上昇したままです。前石破政権では米の増産にかじを切りましたが、高市政権では方針が撤回されました。必要なのは生産を調整して価格を上げることではなく、米を安定的に作り、農家へは所得補償を行い、生活者は主食である米を安く食べられるようにすることです。

イラン戦争により石油や資材の高騰が懸念され、農家はさらに厳しい状況に置かれます。日本の食料自給率はカロリーベースで38%と低く、多くを輸入に頼っています。平和でなければ、経済も市民生活も立ち行かなくなる現実を突きつけられています。



農業を守るためにも、平和外交を求め、戦争をさせないための行動を続けていきたいと思います。

吉田みな子 Profile
★1983年北海道出身★保育士★れいわ新選組推薦★議会ではオープンな議論と、市民に開かれた議会を求め発言★自転車で地域を回りお声を聞いています。
市政相談を行っています。お気軽にご連絡ください。
☎090-1820-3000
お問い合わせフォーム↓

市長の独断？！ 議員報酬10%引き上げ！
やりたいのは 議員定数削減？

唐突な議員報酬引き上げ

3月議会に、市長提案で議員報酬を引き上げる議案が出されました。現在も「議会改革特別委員会」（以下特別委員会）で議員報酬や議員定数、その他様々な議論をしている中で、市長が事前の共有も調整もなく突然提案したのです。これは議会軽視です。

議会として議員提案で出す機会は、特別委員会での結論を出したあとでも十分にありました。また、引き上げる時期は次の選挙後からとされており、今すぐ条例改正する必要性もありません。なぜ、市長側から今出すのか、納得できる理由がありません。

しかし、さらに問題なのは議会の対応です。議会が始まる一週間前に開かれ、議案の審議方法や日程を決める議会運営委員会（議運）では、委員会に付託せず議会初日に採決をすることにしたのです。

審議をせずに採決へ

議運では、私たち「涼風（すずかぜ）の会」は、議員自身の報酬であるため市長提案ではなく議員提案で出すべきで、委員会で議論をすべきと強く求めました。

しかし、「市長提案で問題ない」「議論は不要」との意見が相次ぎ、合議が原則であるにもかかわらず、採決に踏み切られ、なんと委員会での審議をしないことに決まってしまったのです。

海老名市の議員報酬は月額42万2千円（市職員係長級相当）で、30年以上変わっておらず、人口などが近い自治体の平均より低めです。特別職報酬等審議会からも10%引き上げ（月額46万4千円）が答申されています。物価高騰もある中で、報酬引き上げの必要性自体は理解できます。だからこそ特別委員会でも意見を出してきました。しかし、引き上げ額や時期などはもっと議論が必要であり、議会での結論は出していません。結論が出ていないことを議論は不要とする対応は、受け入れがたいものです。

本会議初日に採決が行われた議案に対し、反対は涼風の会と共産党（1名は欠席）の3人でした。賛成した議員からは、質問も討論もありませんでした。

議員報酬引き上げという議会のことに対し、市民への説明責任を果たすことが最低限の責任です。

議員報酬引き上げの次は議員定数削減

そもそも、議員報酬引き上げは、市長が1年前に議会や記者会見で、議員定数削減と政務活動費（議会活動をするために議員一人あたり月18,000円支給され、領収書は公開されている活動費）廃止をセットにして強く推し進めようとしてきたことが発端です。

昨年10月と11月の記者会見では、「議員報酬を増やすための原資を生み出すために議員定数を減らしてほしい」「私の意向を踏まえないものが出てきたら出し直す」と述べています。こうした発言からも、市長は、議会の結論がどうであれ、自分の思い通りに進

2面へ